

※20年9月期・21年9月期及び20年9月末・21年9月末の計数は、旧池田銀行と旧泉州銀行2行単体の単純合算です。

■ 損益状況(単体ベース)

(単位:百万円)

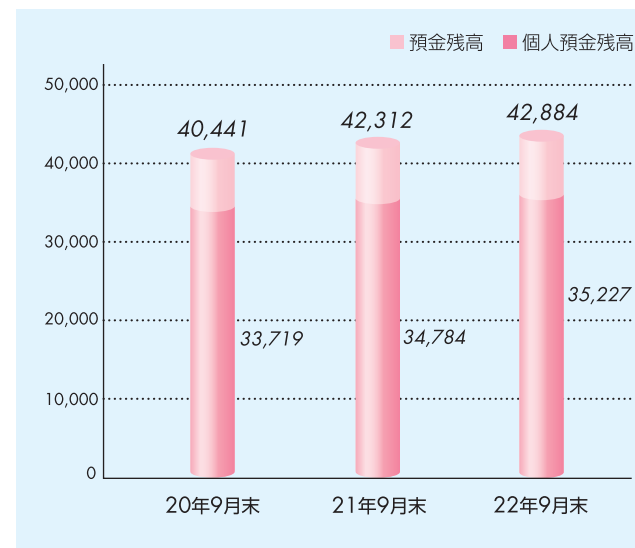
科目	平成21年度中間期	平成22年度中間期
業務粗利益	36,358	37,395
資金利益	30,864	28,123
役務取引等利益	1,263	2,136
その他業務利益	4,230	7,134
経費(△)	24,907	23,612
うち人件費(△)	11,205	11,395
うち物件費(△)	12,389	10,937
コア業務純益	7,122	7,223
業務純益	10,376	14,071
経常利益	7,963	3,854
与信関連費用(△)	2,817	6,813
中間純利益	6,687	4,209

平成22年度中間期は、投資信託・保険販売手数料が好調に推移したほか、国債等債券損益の計上により、業務粗利益は373億95百万円となり、業務粗利益から人件費・物件費等の経費並びに一般貸倒引当金繰入額を控除した業務純益は140億71百万円となりました。

また、業務純益に不良債権処理額並びに株式関係損益などの臨時損益を加減した経常利益は38億54百万円となり、特別損益及び法人税等を計上後の中間純利益は42億9百万円となりました。

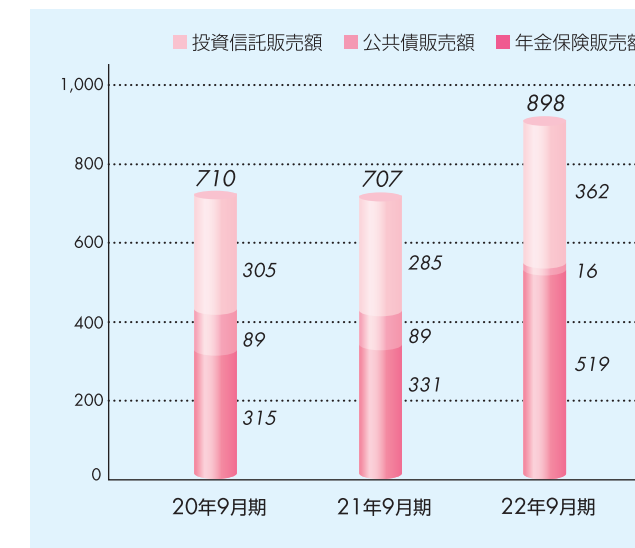
■ 預金残高

(単位:億円)



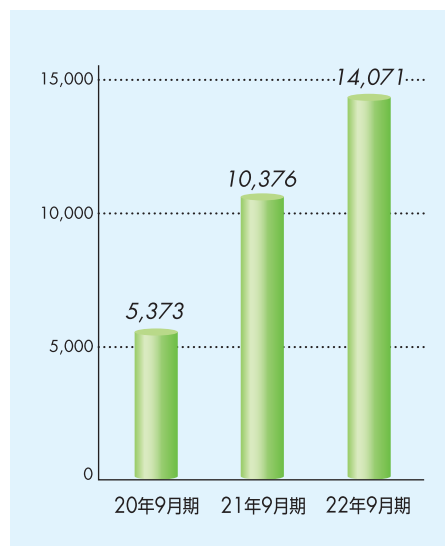
■ 預かり資産販売額

(単位:億円)



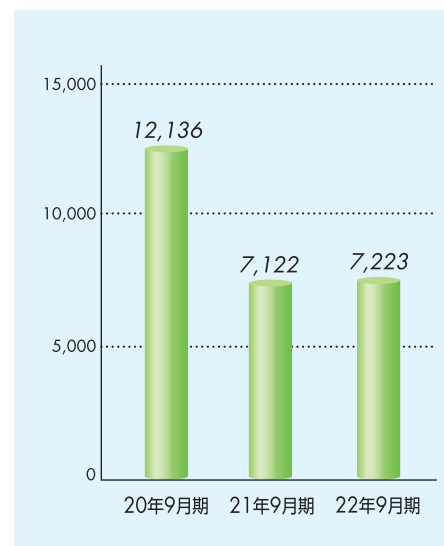
■ 業務純益

(単位:百万円)



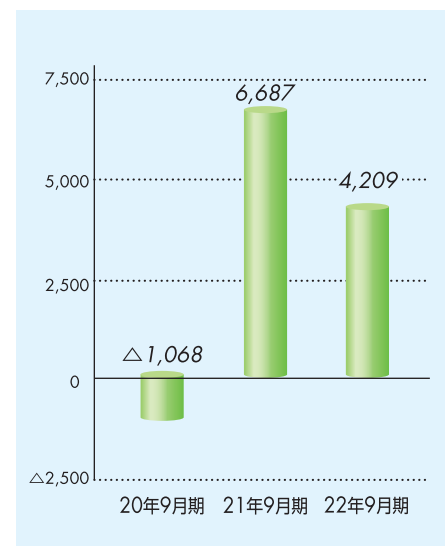
■ コア業務純益

(単位:百万円)



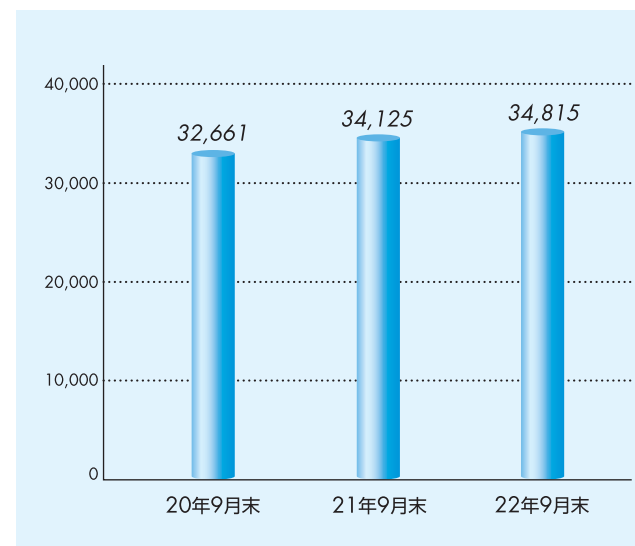
■ 中間純利益

(単位:百万円)



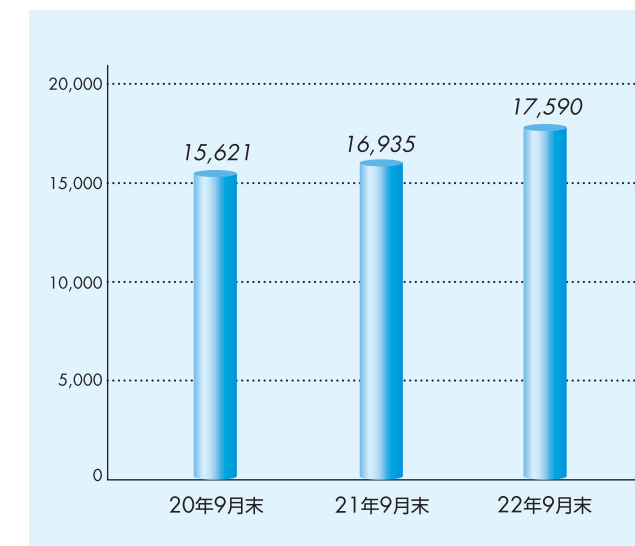
■ 貸出金残高

(単位:億円)



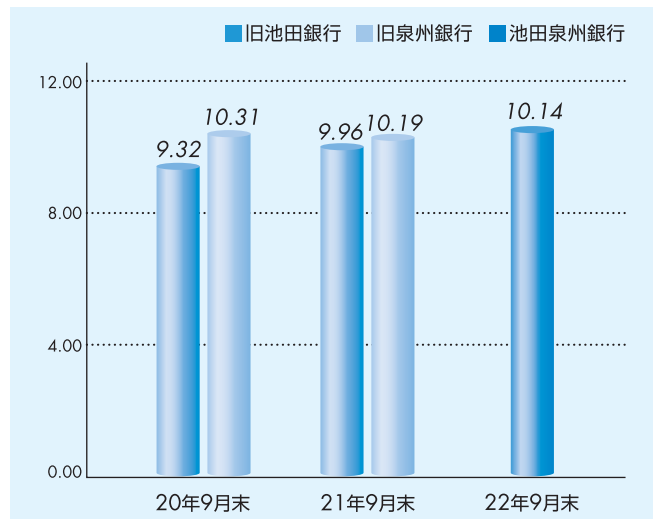
■ 住宅ローン残高

(単位:億円)



自己資本比率(国内基準・単体)

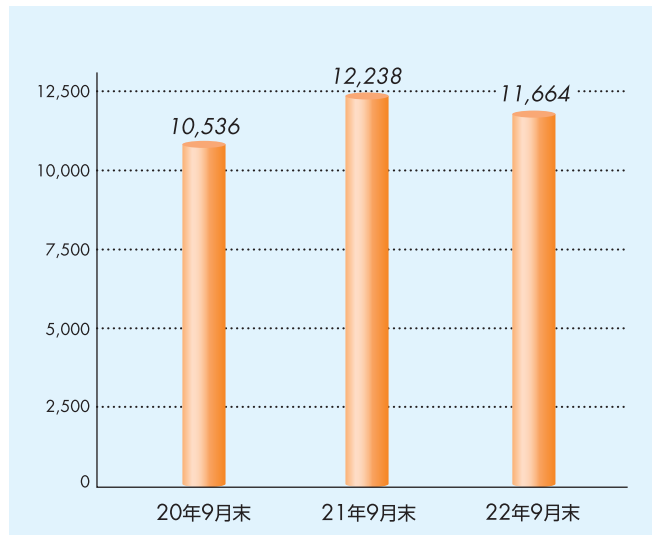
(単位:%)



※自己資本比率の計算方式(国内基準) $\frac{\text{基本的項目(資本金、剰余金等)} + \text{補完的項目(一般貸倒引当金、劣後ローン等)}}{\text{リスク・アセット等(信用リスク度合いを考慮した資産額等)}} \times 100$

有価証券残高

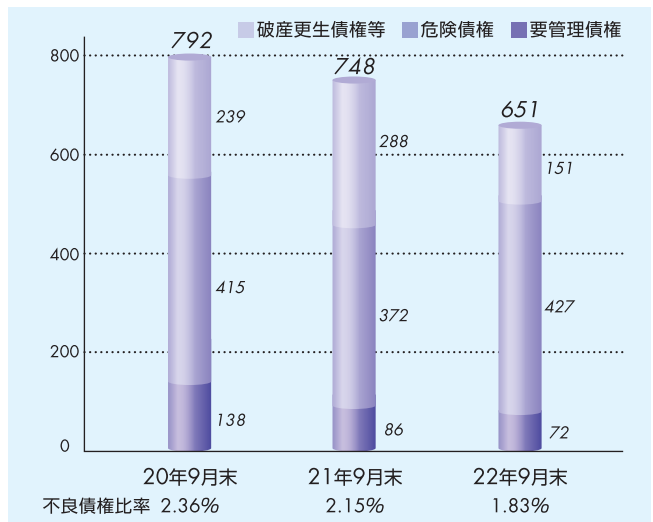
(単位:億円)



資産の健全化について

●金融再生法に基づく債権の開示

(単位:億円)



●平成22年9月期の保全状況

(単位:億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	151	151	100.00%
危険債権	427	391	91.41%
要管理債権	72	60	83.64%
合計	651	602	92.55%
正常債権	34,787		
		保全額:担保等による保全額+貸倒引当金	

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権のことです。

要管理債権

要注意先に対する債権のうち、3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当するものです。(要注意先:貸出条件、債務の履行状況、財務内容に問題があり、今後の管理に注意が必要な債務者。)

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに要管理債権以外のものに区分される債権のことです。

中間貸借対照表の要旨

(平成22年9月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	75,673	預金	4,288,432
買入金銭債権	1,132	譲渡性預金	26,130
商品有価証券	21	コールマネー	570
金銭の信託	19,166	債券貸借取引受入担保金	234,028
有価証券	1,166,448	信用金	23,847
貸出金	3,481,542	外国為替	456
外国為替	6,885	社債	33,000
その他資産	35,126	その他負債	37,742
有形固定資産	35,916	賞与引当金	1,756
無形固定資産	4,331	退職給付引当金	6,191
繰延税金資産	34,688	役員退職慰労引当金	381
支払承諾見返	26,470	睡眠預金払戻損失引当金	336
貸倒引当金	△30,225	統合関連損失引当金	416
		偶発損失引当金	349
		支払承諾	26,470
		負債の部合計	4,680,110
		(純資産の部)	
		資本金	50,710
		資本剰余金	104,361
		資本準備金	11,082
		その他資本剰余金	93,278
		利益剰余金	23,492
		利益準備金	1,152
		その他利益剰余金	22,339
		株主資本合計	178,564
		その他有価証券評価差額金	△1,493
		繰延ヘッジ損益	△2
		評価・換算差額等合計	△1,495
		純資産の部合計	177,068
資産の部合計	4,857,178	負債及び純資産の部合計	4,857,178

注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 貸出金のうち、破綻先債権額 2,147百万円、延滞債権額 55,220百万円、3カ月以上延滞債権額 3百万円、貸出条件緩和債権額 7,213百万円、その合計額 64,584百万円
 3. 単体自己資本比率(国内基準) 10.14%
 4. 担保に供している資産
 有価証券 31,050百万円
 貸出金 40,000百万円
 その他資産 77百万円
 担保資産に対応する債務
 預金 6,830百万円
 債券貸借取引受入担保金 234,028百万円
 借入金 2,100百万円
 上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、有価証券75,493百万円を差し入れております。
 5. 1株当たり純資産額 3,430円12銭
 6. 1株当たり中間純利益金額 118円29銭

中間損益計算書の要旨

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	50,200
資金運用収益	34,323
(うち貸出金利息)	(26,913)
(うち有価証券利息配当金)	(7,356)
役員取引等収益	6,350
その他業務収益	7,372
その他経常収益	2,154
経常費用	46,346
資金調達費用	6,226
(うち預金利息)	(5,250)
役員取引等費用	4,213
その他業務費用	237
営業経費	24,358
その他経常費用	11,311
経常利益	3,854
特別利益	420
特別損失	143
税引前中間純利益	4,130
法人税、住民税及び事業税	37
法人税等調整額	△116
法人税等合計	△79
中間純利益	4,209

中間株主資本等変動計算書の要旨

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) (単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本		
前事業年度末残高	50,710	33,651	7,104	91,466	△7,421	84,045
当中間会計期間変動額						
合併による増加		70,709	17,941	88,651		88,651
剰余金の配当			△5,763	△5,763		△5,763
中間純利益			4,209	4,209		4,209
株主資本以外の項目の当中間会計期間変動額(純額)					5,925	5,925
当中間会計期間変動額合計	—	70,709	16,387	87,097	5,925	93,022
当中間会計期間末残高	50,710	104,361	23,492	178,564	△1,495	177,068

